

**令和 8 年度仙台市知的障害者サッカー大会  
(兼 第 25 回全国障害者スポーツ大会 仙台市代表決定戦)  
実 施 要 領**

**1 競技規則**

2026 年度全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領の定めるところによる。

**2 チーム編成**

- (1) チーム編成は、出場申込書に記載された監督 1 名、コーチ 2 名以内、トレーナー 2 名以内、選手 16 名以内の合計 21 名以内とし、男女を問わない。
- (2) 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、出場申込書に選手として記載されていなければ試合に出場できない。また、この場合も選手人数は 16 名を超えてはならない。

**3 競技方法**

- (1) 試合は前後半それぞれ 30 分の合計 60 分とし、ハーフタイムは 10 分とする。60 分で勝敗がつかない場合は、後半終了時点から 10 分のインターバルを挟み、5 名ずつのペナルティーキック戦を実施し、より多くの得点をあげたチームを勝者とする。なお、5 名終了時点で決着がつかない場合は、差がつくまで同方式を続ける。
- (2) 試合球は公益財団法人日本サッカー協会検定 5 号検定球とし、主催者が用意する。その他大会中の競技用具は、原則として主催者が用意するが、各チームが練習等に使用する用具（ボール、ウォーミングアップで使用する用具等）は各自で用意すること。
- (3) 競技は、すべて主審の指示により進行される。
- (4) 交代要員は 5 名までとし、前後半合わせて各チーム最大 3 回の交代回数を使うことができる。また、これに追加してハーフタイムにも交代を行うことができる。ただし、明らかな脳震盪による交代は、前述の選手交代回数とは別に 1 試合につき 1 名まで可能とする。
- (5) 警告の累積が 2 回に及んだ選手は、次の 1 試合に出場できない。また、退場を命じられた選手についても、次の 1 試合に出場できない。
- (6) 招集時間は原則として試合開始 10 分前とする。ただし、前の試合がペナルティーキック方式等により試合時間が延びた場合は、主催者より別途指示するものとする。また、招集時間にチームが集合せず試合を出来る状態にないと主審が判断した場合は、主催者と協議のうえ棄権とみなし、スコアは 0 対 11 と記録する。
- (7) 試合を開始する前に、競技できる者が 7 名未満となった場合（指示に従わない、会場から離れる等）は、主催者と協議のうえ棄権とみなし試合は行わない。また、試合中に 7 名未満となった場合は、アウトオブプレー後に試合を中止する。いずれも棄権による試合不成立とし、スコアは 0 対 11 と記録する。

#### 4 服装

- (1) ベンチ入りする選手は、ユニフォームとしてシャツ（背番号必須）、ショーツ、ストッキング、レガースおよびシューズを着用しなければならない。なお、背番号は1番から16番までとし、連番でなくとも構わない。
- (2) ユニフォームは、フィールドプレーヤーおよびゴールキーパーでそれぞれ1stと2ndの2種類を用意しなければならない。同系色は不可とし、色彩や濃淡が異なり、かつ審判が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) キャプテンは、審判が識別できるアームバンドを着用しなければならない。
- (4) ベンチ入りする選手は、自分自身あるいは他の選手に危害を及ぼす恐れのある用具や装飾品、アクセサリ類を一切身につけてはならない。なお、メガネはスポーツ用メガネとし、主審が安全と認めた場合のみ試合中の着用を許可する。

#### 5 ベンチ

- (1) ベンチは組み合わせ表の番号が若いチームをグラウンドに向かって左側にする。
- (2) ベンチ内には、チーム編成に含まれる監督・コーチ・トレーナー、選手以外は入場できない。
- (3) 監督およびコーチは、その都度1名が、主催者が設けるテクニカルエリア内から戦術的指示を選手に伝えることができる。なお指示後は直ちに所定の位置に戻らなければならない。また、テクニカルエリア内では節度ある態度で行動しなければならない。

#### 6 組み合わせ

主催者の代理抽選により決定する。なお、トーナメントにおいてシードが生じる場合、第1シード、第2シードはそれぞれ前年度大会の優勝、準優勝チームとする。

#### 7 MCM（マッチコーディネーションミーティング）

各試合の開始60分前を目安に、各会場の本部前にて審判団、両チームの監督、主催者によるMCM（マッチコーディネーションミーティング）を行う。その際、両チームの監督は主催者が用意したメンバー表を提出すること。また、ユニフォームカラーを確認および決定するため、1stと2ndのユニフォームを持参すること。

#### 8 天候や自然災害等への対策について

- (1) 前後半開始後それぞれ15分を目安に1回ずつ、飲水タイムを設ける。ただし、WGBT値（温球黒球温度）※が基準値を超えている場合は必要に応じて飲水タイムを追加で設ける。  
※WGBT値：気温、湿度、日射・輻射などの周辺熱環境を総合して計測する暑さ指数。
- (2) 大会当日の午前8時時点で、仙台市において大雨、洪水、暴風、津波のいずれかの警報が発令されている場合は、主催者の協議により開催あるいは中止を判断する。試合中に前述の警報および雷注意報が発令された場合や、大規模な地震、火災等が発生した場合は、主催者の協議により試合続行あるいは中止もしくは一時中断を判断する。中断後、再開が大会運営に大きな支障があると認められた場合は中止を判断する。ただし、後半15分以降に中止を判断した場合は、その時点のスコアで試合成立とする。